

授業科目	子どもと言葉(2年制コース)				実務家教員担当科目	-					
単位	1.	履修	選択	開講年次	1	開講時期	前期				
担当教員	戸田 由美										
授業概要	言葉のもつ意義と機能を理解し、言葉遊びなどを通して言葉に対する感覚を豊かにする実践を幼児の発達の姿と合わせて考察する。また、絵本・物語・紙芝居等々の児童文化材を使用しながら想像する楽しさを導き出せる方法を学ぶ。										
授業形態	講義	授業方法	ほとんど講義ですが、グループでの話し合いもあります。								
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<p>1、幼児を対象として幼児が豊かな言葉や表現を身に付けることのできる指導法を習得できる。</p> <p>2、想像する楽しさを広げるための言葉指導を習得できる。</p> <p>3、専門的事項に関する知識を身に付けることができる。</p> <p>保育士として、幼児の日常のやりとりや表現を捉え、よりよき言葉をの指導ができるようになること。</p>										
理想的レベル	健全児、および障がいを持っている子どもに対しても、その場に応じた的確な言葉の指導ができるようになること。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合(数値)				備考						
試験											
小テスト											
レポート	50%										
発表(口頭、プレゼンテーション)											
レポート外の提出物	30%				感想文						
その他	20%				出欠						
カリキュラムマップ(該当DP)・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	CH11305J
学習課題(予習・復習)										1回の学習目安(時間)	
予習										4	
授業計画											
第1回	保育者として、より良い国語表現について子どもにわかりやすく指導するときの心得を学ぶ。										
第2回	言葉の発達過程と右脳と左脳の関係について右脳と左脳の働きの違いを学び、言葉を通しての幼児教育の要点を学び、与えるべき絵本を選択する。										
第3回	本を読めば頭が良くなるのはなぜか。言葉によるコミュニケーションの意義を考える										
第4回	子どもへの言葉かけの基本的な留意点について										

	子どもが特に関心を示す言葉を探求する。
第5回	言葉遊びと幼児の言葉の発達に関連性について わらべ歌、しりとり、なぞなぞな言葉遊びと幼児の言葉の発達についての関連性を考察する
第6回	ファンタジー絵本と子どもの内的成長について ファンタジーとは何かという考察から始まり、ファンタジーの意義と子どもへの良き影響を学ぶ。
第7回	子どもの表現としての擬人化について 擬人化が及ぼす効果と子どもへのしつけとの深いかかわりについて学ぶ。
第8回	基本的な生活活動と言語の変化(まとめ)
テキスト	必要に応じてプリント等々配布する。
参考図書・教材 /データ ベース・ 雑誌等の 紹介	必要に応じてプリントを配布いたします。 幼稚園教育要領 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 保育所保育指針 <原本>
課題に対するフィードバックの方法	レポート50点
学生へのメッセージ・コメント	講義中理解できなかったところは、必ず、質問してください。 授業への積極的姿勢、出欠状況など総合点によって成績をつけます。